

教育委員会会議録

(定例会)

令和5年11月28日(火)開催

嬉野市教育委員会

第7回嬉野市教育委員会議録（定例11月）

- | | | | |
|---|------|---|---|
| 1 | 開催日時 | 令和5年11月28日（火）13:30～15:00 | |
| 2 | 開催場所 | 嬉野市中央公民館 視聴覚室 | |
| 3 | 出席委員 | 教 育 長
教育長職務代理者
委 員
委 員 | 杉崎 士郎
永田 由美
宮崎憲太郎
荒武 治美 |
| 4 | 欠席委員 | 委 員 | 石橋 蔵人 |
| 5 | 出席者 | 教育部長
教育総務課長
学校教育課長
指導主事
指導主事
文化・スポーツ振興課副課長 | 山本 伸也
武藤 清子
野口 幸子
河村 賢
森田 靖敏
中島 隆二 |

1 開会

2 議録署名委員 永田委員、宮崎委員

3 議題

(1) 報告

① 12月補正予算について

（教育部長） 備品購入費、消防設備改修事業費、伝統的建築物群保存対策事業費、学校給食事業（修繕費）について補正の計上をしております。

② 第4回市内小中学校校長研修会での指導事項について

・人事異動方針について

（教育長） 県教委の目的としては学校が抱える教育課題解決のために学校運営体制を強化する、教職員個々人の職の成長を促すためとあげております。その中で基本方針が出ております。今回特任指導教諭というのが新しく出ております。これは校長、副校長、教頭、指導教諭および指導教員については60歳に達した翌年の4月1日以降をもって希望すれば特任指導教諭とするということです。適材適所の観点に立って配置をするということです。

・ホタテ給食について

（教育総務課長） 北海道の森町というところが、福島原発の処理水の放出関係で輸出ができず倉庫にホタテが大量に残ったままになっているということで、国の事業を利用して全国の学校給食にホタテを無料提供しますという取り組みをさ

れました。応募をしてみたところ当選し、1月に送っていただく予定になっております。それに関連して子どもさんの中には貝類のアレルギーをお持ちの方がいらっしゃるようですので各学校にアンケート調査をさせていただくことにしております。もしアレルギーがある方はお弁当を持ってきていただくようお願いをしているところです。

・学力調査について

(指導主事)

これまでは7月に全国学力調査があつて、12月に県の学力調査があつていましたが、4月に全国学力調査と県の学力調査がおこなわれるようになりました。来年度から嬉野市も4月に小学校2年生から小学校4年生および中学校1年生を対象とした学習状況調査をおこないたいと思います。分析を夏休み中に一斉にして学力向上に向けた取り組みを1年間かけてしてもらって、1年後に4月にどれだけ成果が出たか分かるように変更したいと思っております。小学校1年生だけはこのような調査はありません。

・不登校の状況について

(指導主事)

10月末現在の状況ですが、小学校は4人増えております。傾向数も16人ということです。1,000人あたりの数字を出してみると小学生が13.2人となっていて、昨年度の佐賀県の小学生が1,000人あたり14.9人でしたので増えてきたなどというのは感じております。中学校については10月末時点で前月よりも3人増えております。1,000人あたりは41.7人で昨年度に比べたらまだ少なくはありますが、予断はできないかなというところです。

・いじめの状況について

全体で小学校では110件、中学校は23件学校が対応をしているということになります。1,000人あたりの数字を出しておりますが、学校間の差はばらつきが出てきておりますので、校長会でもお伝えしていきたいと思っております。

③社会体育について

・文化スポーツ振興課行事(11~1月)

(文化・スポーツ振興課副課長)

11月3日に嬉野地区で美術展、文芸展がありました。6日、13日はかがやき大学の講演がテレビで放映しております。17日は寄席普及講演、25日はソフトバンクホークス主催のベースボールキッズということで、200名を超える野球少年が1軍選手も含め8名の選手から指導を受けておられます。同日に監督が怒ってはいけないバレーボール大会 in 嬉野ということで元バレーボール日本代表の益子直美さんが来られまして、怒らなくても勝利を手に入れることができる、子どもたちにはスポーツマンシップってどういうことなんだろうと学ぶセミナー付きのバレーボール大会をおこなっております。市内のジュニアバレーボールチーム8チームで100名程度の方が参加されております。26日にはりパティで子ども文化祭がおこなわれまして9団体がダンスやピアノを発表されました。12月2日は人権啓発講演会、1月4日は二十歳の集いを開催予定ですが、YouTubeでの

オンライン中継もする予定です。20日はパークランを4年ぶりに実施予定です。

③ 「わたしたちの嬉野市」の進捗について

(学校教育課
長)

第4版の編集の年になっております。昨日第3回編集会議をおこないました。12月上旬には2回目の検討をおこなった後の原稿を修正し業者さんに渡して、1月中旬に出来上がるタイミングでもう1回校正をして3月中旬には配布をしたいと思っております。今回は1,500冊を予定しております。

(2) 協議

① これからの嬉野市の教育について

(教育長)

これまで嬉野市では5か年計画ということで最初は教育改革プラン、次の5年が教育創新プランということで「嬉野っ子アクションプラン」、今が教育新次代プランということで「嬉野っ子ワクワクデザイン」としており、今年で5年目になります。今までの流れを振り返ってみると教育長の任期も短くなっているの、5年というのを見直して3年くらいにしないと今の教育の流れの中で次々といろんな部分が出てくると思いました。いかがでしょうか。

(委員)

3年だと専門でない先生方は結構きついのではないのでしょうか。1年様子を見て2年目、3年目で成果を出していくのは大変だなと感じました。今の時代が早く早くというようなものが全体的にありますので、時代に合わせて頑張らんとすれば、そのような考え方にならざるを得ないというのもあります。

短期のプランと、長期のプランの2つの視点があるといいのかなと思っております。

(教育長)

教育計画長期プランの部分と年度ごとの前半後半に分けていくと、3年3年の6年プランというような感じでしょうか。

(委員)

柱となる部分に関して5年でもいいのかなと思いますが、ここ3年でもいろんなことがコロコロ変わるのは実感しておりますので、1年ごとでも見直さないといけない項目はあるのかなと思いますので分ける考え方がいような気がします。

(教育長)

教育としては1年1年で変わってもよくないし、ある程度、継続は力なりですので、教育として変えてはならない部分を5年として、流行で新しいのが入ってきた部分を3年として計画してみましようかね。よろしいでしょうか。

(委員)

<異議なし>

② 嬉野市立学校の管理運営に関する規則の改正について

(学校教育課
長)

佐賀県立学校の管理に関する規則の一部が改正されましたので、嬉野市もそれに伴い嬉野市立学校の管理運営に関する規則の一部を改定しております。

(委員)

<異議なし>

③ その他

(委員) 不登校が増えている要因はなんでしょうか。

(指導主事) 要因は様々ですが、コロナ禍になって学校を休むことへの抵抗があまりない、最初は濃厚接触者や家族にコロナが出たら一定期間休まないといけなかったという社会の変化も関係しているのではないかと文部科学省も言っています。それと個人が持っている特性が最近是非常に多くなってきているのではないかというところです。

(教育長) 以前は不登校の生徒同士でも同じ教室にいましたが、今ではひとりひとり仕切りが必要になってきております。いろんな要因が絡み合っ出てきており、質的にも違ってきております。子どもの個性を非常に大事にする時代になってきましたので、大事に育てる方向に進んでおりますので合わせながらやっていきたいと思っております。よろしいでしょうか。

(委員) <異議なし>

(3) その他

① 次回定例教育委員会

(教育長) 1月22日(月)10:00～

(委員) <異議なし>

② その他

・教育支援センターひまわりの移転について

(教育部長) 新庁舎の建設に伴いまして、嬉野地区の教育支援センターひまわりが文化センターから建設業会館へ移動します。今のところは来年の2月を予定しております。

(委員) <異議なし>

4 閉会